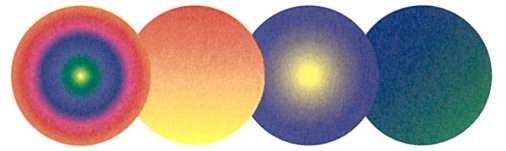


県民と県政のネットワーク誌



ほっと石川

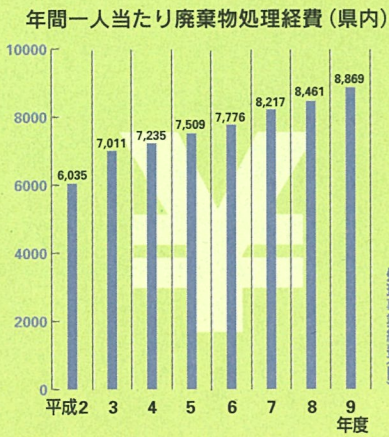
1999
夏季号



「いざ、出立」 表紙絵／西のぼる(松任市在住)

 ISHIKAWA PREFECTURE
石川県

[特集]
リサイクル型社会の実現を目指して



石川県では一般廃棄物の排出量が年ごとに減ってきましたが、県民一人当たりの年間廃棄物処理経費は微増を続けています。

大量廃棄社会からの脱却

廃棄物やリサイクルの問題を例に挙げれば、最終処分場の残存埋立容量の逼迫や、市町村の廃棄物処理にかかる経済的負担の増大、資源の有効活用などの問題などに直面しているほか、ダイオキシンや有害化学物質の排出、地球温暖化などについての対応も急がれています。

わが国では、日常の消費活動から排出される一般廃棄物の量は年間

容器包装リサイクルが本格化

ちろんのこと、やむを得ず廃棄するごみについても、再生資源として利用可能なものは極力、リサイクルを進めていくことが重要です。

また新たに、その他の紙製容器やプラスチック製容器もリサイクルの対象となり、容器包装リサイクルが本格化します。

これは、日本のリサイクルシステムの基礎をなすものであり、石川県でも「容器包装リサイクル法」の施行をきっかけに、循環型社会構築のテンポをより一層早めたいと考えています。

パートナーシップと社会システムの構築へむけて

その中で、資源を有効活用する一方で、廃棄物による環境への負荷を減らし、社会の持続的な発展を続けていく循環型社会の構築が、今、地球規模で求められています。そのため、廃棄物の発生抑制はも

約五千万トンで、そのうち容積比で約六割が容器包装廃棄物となっています。平成九年四月から施行された「容器包装リサイクル法」では、分別収集されたガラスびん、アルミ・スチール缶、ペットボトル、飲料用紙パックなどのリサイクルが義務づけられています。

求められるリサイクル型社会

近年の環境問題は、その影響がより広域に、そして将来の世代にも及ぶ可能性がある点や、日常の消費活動や事業活動などを通して社会を構成する全ての人が被害者であるとともに加害者でもあるという点にその難しさがあります。

らの大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済システムでは対応に限界があります。

再資源化を進めよう ごみの減量化と 芽生える、拡がる、リサイクルの輪

私たちの住む石川県は豊かな自然に恵まれています。この生活環境を守り、今後も安心して暮らしていくには、公害防止や自然保護に加え、廃棄物の発生抑制やリサイクルにも積極的に取り組んでいくことが不可欠です。石川県では、環境への負荷の少ない「循環型社会」の実現を目指し、現在、さまざまな施策に取り組んでおり、県民の皆さんからも理解と協力を得ていきたいと考えています。「だれかが何とかしてくれる」——「こう考えている」は、環境の破壊は進むばかり。身近なことから手始めにごみの減量化と再資源化に努めていきましょう。

特集 リサイクル型社会の実現を目指して

Contents [目次] 1999 夏季号

- 特集 リサイクル型社会の実現を目指して………2
ごみの減量化と再資源化を進めよう
- インタビュー………6
女優 真野響子さん
- ほっとニュース………7
いしかわクリエイトラボ
- 知事の窓………8
- ほほえみ………8
ボランティア合歓の会
- いしかわ夢づくりレター………9
- 学びらんど………11
平成11年度
全国中学校体育大会
- 施設ガイド………12
のとしま水族館
- 市町村トピックス
川北町………14
内灘町………15

■表紙について

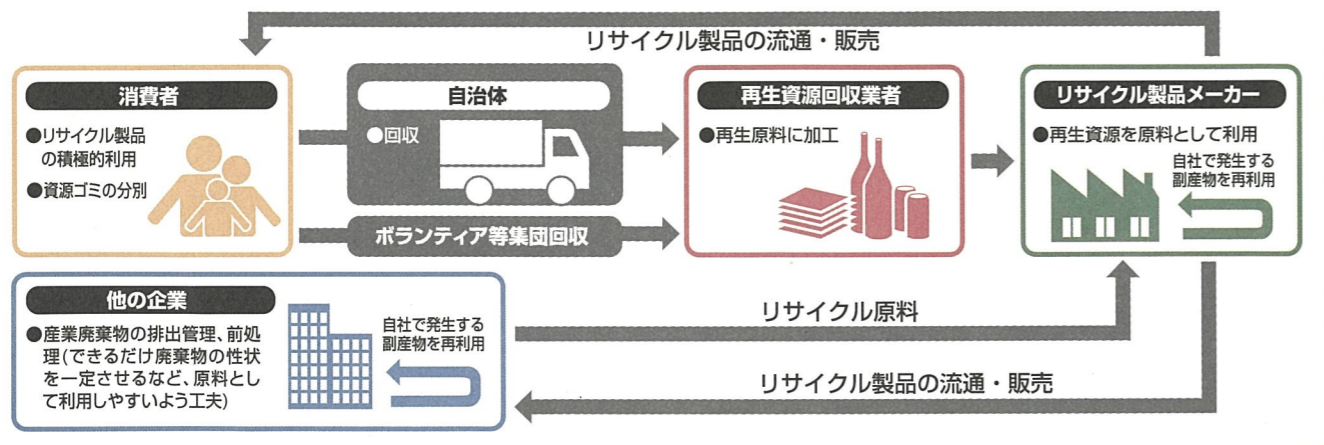


門前町黒島の天領祭り

この祭りは、同町の若宮八幡神社の夏季大祭で、貞享元年(1684年)に黒島が徳川幕府の直轄地である天領となったことにちなんで、毎年8月17~18日に行われています。

神輿を中心に天狗面をつけた猿田彦や子供奴振りなどのほか、総輪島塗、金箔仕上げの2基の曳山が町内を巡行し、黒島の北前船によるかつての繁栄をいまに伝えます。子供奴振りは一文字笠、三葉菱の黒はんてん、赤前垂れ、白足絆、わらじ履きの姿で顔を化粧し、提灯、鉄砲、はさみ箱などを持って、練り歩きます。

■リサイクル循環図



石川県リサイクル認定制度

県内でのリサイクル製品の利用の促進と、リサイクル産業の育成を目的に、「石川県リサイクル認定制度」が平成十年九月に発足しました。対象となるのは、原則として県内で発生した再生資源（廃棄物）を活用して、県内企業が製造・加工し、再生資源の配合率などの認定基準に適合した商品です。

認定を受けた製品について、県では展示会などへの出展でPRに努め

さまざまな石川県の取り組み

たり、公共事業などでの優先的利用を図ることとしています。現在、九企業十一製品が本県リサイクル製品として認定されており、公共機関等での利用はもとより、各方面での利用促進をお願いします。

産学官連携でリサイクル技術の高度化にも取り組む

廃棄物の再資源化を推進していくためには、新しいリサイクル技術の開発が欠かせません。しかし、事業規模や採算性を考え

ると、民間企業が単独で行うには難しい面もあります。そこで石川県では、県工業試験場の技術ノウハウを活用するとともに、産学官連携により、県内におけるリサイクル産業の育成・発展を目指しています。

現在、ペットボトルを再生資源として活用したトレイなどの成形品や、ガラスびんを活用したタイルの試作、古紙を活用した緩衝材等の試作・研究などに取り組み、企業による事業化を支援しています。また、樹木の剪定枝や魚のアラな

石川県では、リサイクル型社会の構築に向けてさまざまな事業に着手しています。

などを堆肥にする研究を産学官共同で進めています。

このほか、集落内で集めた生ごみを堆肥化し、農業用、園芸用に再利用することを目的とした生ごみ堆肥化の事業も進んでおり、昨年から小松市と鳥屋町でモデル事業が進められています。

「産業廃棄物処理対策懇話会」を設置

産業廃棄物は、日々の産業活動によつて発生するものであり、その中

には日常生活とかかわりの深い下水道汚泥なども含まれます。しかしながら、その受け皿となる処分場には限りがあることから、排出事業者、処理業者、県民、知識経験者からなる「産業廃棄物処理対策懇話会」を設置し、発生抑制対策、再利用・資源化、処理施設のあり方などについて議論していただくこととしています。

「マニフェスト制度」が平成十年から義務化

「マニフェスト」と呼ばれる産業廃棄物管理のための伝票を、排出事業者が産業廃棄物の処理を委託する際に、産業廃棄物の名称、数量、運搬業者名、処分業者名、処分方法を記載して渡し、産業廃棄物の流れを把握・管理する制度の普及が図られています。

マニフェスト制度は、平成十年十二月から全ての産業廃棄物について義務づけられており、廃棄物の流れの川上に位置する排出事業者が、自ら排出したものが川下へどのように流れているか管理する義務を負います。



産業廃棄物管理票「マニフェスト」

平成11年度の石川県の主なリサイクル推進対策

| 普及・啓発 |
|--|
| ●リサイクルパートナーシップ事業 県民フォーラム開催、マイバッグキャンペーン事業、クリーンリサイクル推進協議会開催 |
| リサイクル製品利用促進対策 |
| ●石川県リサイクル製品認定事業 展示会への出展支援、公共事業での優先利用 |
| ●再生紙需要拡大推進事業 小中学校への図書券送呈、印刷工業組合と連携した再生紙利用 |
| 環境教育の推進 |
| ●環境教育推進事業 環境講座の開設 |
| システム検討調査会 |
| ●容器包装リサイクル推進事業 分別促進計画の策定、事業者、市町村等への説明会 |
| ●未利用有機物リサイクル推進事業 集落内生ごみ堆肥化と土づくり事業 |
| ●産業廃棄物処理対策 懇話会の設置、需給ネットワークの構築 |
| ●下水汚泥有効活用調査 下水道発生活泥の有効活用調査 |
| リサイクル製品研究開発・施設整備 |
| ●リサイクル技術高度化推進事業 産学官による共同研究、事業化部会設置 |
| ●廃棄物リサイクル施設等整備促進事業 リサイクルセンターの整備補助 |
| ●融合化新製品開発費補助事業 古紙利用による断熱材、防音材等の開発 |

県では上の一覧に挙げたほかにも公共工事で発生するコンクリート塊やアスファルト塊を基礎材や舗装材に再利用するなど、さまざまなリサイクル対策に取り組んでおり、これらに県民の皆さんや事業者の皆さんのご協力があれば、リサイクル型社会の構築に向けた大きな力となります。



石川県リサイクルシンボルマーク「もっかいくん」

お問い合わせ
石川県環境安全部環境政策課
リサイクル推進室
TEL 076(223)9444 FAX 076(223)9159

リサイクルにご協力を

廃棄物の発生抑制や分別排出、リサイクル製品の利用などで、県民の皆さんにもご協力をお願いします。

リサイクル製品を利用しよう

下の3つのマークはリサイクル製品や環境にやさしい製品であることを示す環境ラベルで、県では古紙利用の促進事業として商品について環境ラベルを切り取って一定数集めた小中学校に図書券を贈っています。再生紙利用製品の購入拡大や古紙リサイクルの意識を深めていただくとともに、身近なところから環境について考えていただくために実施しています。



マイバッグを持って買い物に

スーパーなどへ買い物に行った際にもらうレジ袋は、私たちの自主的な努力で減らすことができるものです。購入した商品を入れるバッグや買い物袋を活用して、ごみの減量化にご協力ください。

リサイクルプラザの活用を

金沢市や松任石川広域事務組合、加賀市などでは空き缶、ペットボトルなどのリサイクルを進めるリサイクルプラザを整備しています。リサイクルプラザには、空き缶、ペットボトルなどの選別・資源化設備のほか、市民にリサイクルをPRする学習施設も用意されています。



リサイクルプラザ（松任石川広域事務組合環境クリーンセンター内）



根上町役場で使用している、ペットボトルを再生資源として利用したオフィスユニフォーム

石川県リサイクル製品認定制度 平成10年度の認定製品

| 企業名 | 製品 | 再生資源 | 企業名 | 製品 | 再生資源 |
|---------------|------------|--------------|------------|---------------|----------|
| (株)北國製紙所 | トレットペーパー | 古紙 | (株)ビーエスピー | マウスパッド | 古紙 |
| ニッコウ(株) | 床タイル | フライアッシュ(石炭灰) | (株)豊商 | インターロッキングブロック | 下水道汚泥焼却灰 |
| シンコール(株) | カーテン | ペットボトル | (株)エコシステム | 透水性舗装材 | 瓦くず |
| シンコール(株) | イス生地 | ペットボトル | 加賀製紙(株) | 板紙 | 古紙 |
| シンコール(株) | 再生紙クロス | 古紙 | (株)土谷九兵衛商店 | モクピン | 間伐材 |
| (株)ヤギコーポレーション | オフィスユニフォーム | ペットボトル | | | |

石川県では、二十一世紀の石川をリードする新しい基幹

21世紀の石川をリードする新たな産業を目指して

四月のオープン以来、入居企業は十七社に上り、貸しスペース面積の約八〇％に達する人気ぶりです。業種は、コンピュータソフトなどの情報医療福祉機器、バイオテクノロジー、化学系が多く、産学官の連携による研究開発と研究成果の事業化や商品化に日夜、取り組んでいます。



◀ロビーでは、入居企業による交流も生まれています。

◀入居企業の一つ(株)センサの社内

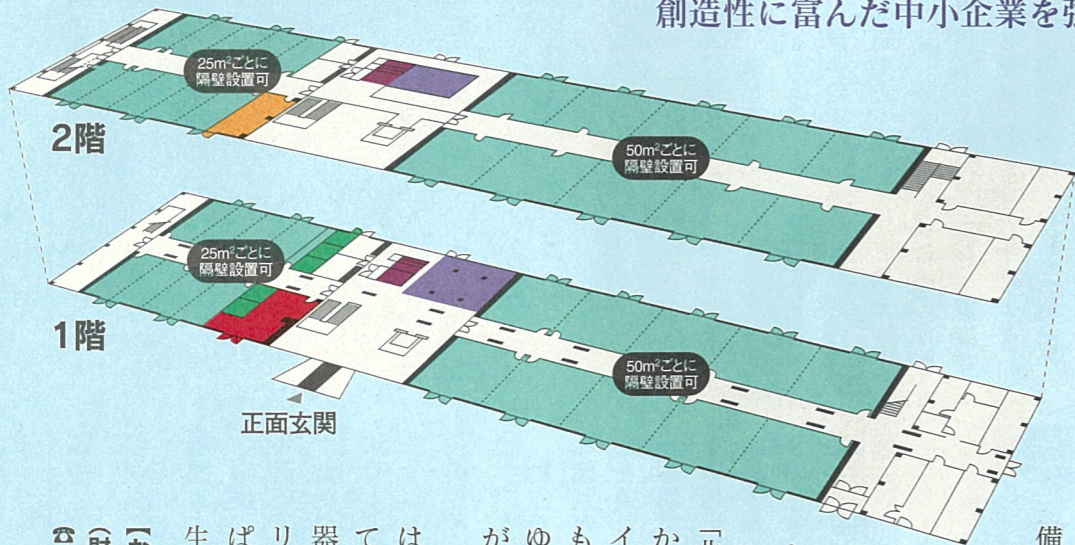


▲いしかわクリエイトラボ外観

「いしかわクリエイトラボ」は、今年四月にオープンしたインキュベート施設。インキュベートとは、乳児を育てる「保育器」という意味です。創造性に富んだ技術を持つ中小企業などに施設や機器を貸与し、自立化を後押しする新しい産業振興施設です。

いしかわクリエイトラボ

創造性に富んだ中小企業を強力にサポートしています



- レンタル・ラボ/インキュベータ
- 5m²のミニインキュベータ室 (インキュベータの中でも特に小規模事務所)
- 管理事務室
- 打ち合わせ・休憩ロビー
- 厨房スペース (簡単な調理器具を用意)
- シャワールーム、仮眠室

産業を育てようと、さまざまな施策を行っています。いしかわクリエイトラボもその一環で、今年四月に設立した財団法人石川県産業創出支援機構が持つ施設の一つです。創業間もないベンチャー企業やこれから起業を目指す社会人や学生に、研究施設や設備などのハード面で、できるだけ負担を少なくすると同時に、経営情報の提供や経営コンサルティング、金融支援などのソフト面からもきめ細かなサポートを行っています。入居企業の皆さんからは「北陸先端大に近く、研究室から貴重なアイデアやアドバイスをもらえる」「小さくても世界に通用する企業にゆくゆくは成長したい」などの声が寄せられています。アメリカ経済を再生したのはベンチャー企業だと言われています。石川県でも「保育器」の役割を持ついしかわクリエイトラボから、元氣いっぱいこのベンチャー企業群を誕生させたいものです。

【お問い合わせ】
 (財)石川県産業創出支援機構
 ☎076(267)1001

17社が入居し、産学官連携で研究

いしかわクリエイトラボは、能美郡辰口町のいしかわサイエンスパーク内にあります。北陸先端科学技術大学院大学にも近く、豊かな自然環境とハイテク研究の最前線に位置しています。

銀色に光るシャープな外観が特徴のいしかわクリエイトラボの中には、研究開発型中小企業(ベンチャー・ビジネス)に低料金で貸与する貸し研究室と貸し事業所スペースがあります。



女優

真野 響子さん

■プロフィール

1952年2月9日生まれ。東京都出身。桐朋学園大学芸術学部卒業後、劇団民芸に入団。「血の婚礼」で初舞台を踏み、以降、舞台、映画、テレビなどで活躍中。年2回、金沢大学非常勤講師として留学生に日本文化を教える。夫は俳優の柴俊夫さん。



文化人や企業家、学識者たちが教授となり、人間、自然、文化、そして地域の将来について膝を交えて語りあう「白山麓僻村塾」。舞台やテレビでお馴染みの女優・真野響子さんは、僻村塾の教授としてたびたび石川県を訪れ、特に白山麓の豊かな自然や文化に日本人が忘れかけた大切なものを感じると言います。

白山麓は私の心のふるさと

高橋治氏を通じて石川との縁が深まる

「日本一おいしい朝御飯を食べさせてやる」。作家の高橋治さんからそう誘われて、十年前に山中町の温泉旅館を訪れたのが、私と石川県の縁が深まっていったきっかけです。

その後、高橋治さんが塾長を務める「白山麓僻村塾」に教授の一人として招かれ、以来、年に数回は白峰村を訪れ、山荘に滞在するようになりました。時には、夫や娘と一緒にです。

私は山を歩くのが好きで、今回も娘とミズバショウを見に行ったり、カタクリを摘んだりして、のんびりとした時間を楽しみました。カタクリは酢の物にしたり、葉でお肉を巻いたりして料理したんですよ。

自然と親しむ機会に恵まれた少女時代

東京育ちにもかかわらず、山遊びで心がほっとするのは、祖父母が鎌倉に住んでいたからかもしれません。白峰村ほど山深くはありませんが、鎌倉にも自然がたくさん残っていて、幼い頃はよく遊びに行つて、ツクシやセリを摘んだものです。祖父母の住んでいた家は高台にあり、百段ぐらの階段を上つていってほしいのうか、山登りも全然苦になりません。白山麓の自然もまた素晴らしいですね。ただ、雪が多いため、冬には

大切なものを思い出させてくれる

白山麓には、まだまだ古くからの文化やならわしが多く残っていて、訪れるたびに、私に、忘れかけていた何かを思い出させてくれます。

しかし、日本人は新しいものの好きとよく言われるように、このままでは日本という国の個性が、いざれ失われてしまう気がしています。最近暮らしている都会を離れて、地方に移り住む人が増えているのも、そんな危機感の表れではないでしょうか。そろそろ日本らしさとは何か、を見直すべき時代がやってきたのかもかもしれませんね。



白峰村の山荘で白山麓僻村塾理事の織田鉄五さんと談笑する真野さん

「いしかわ夢づくりレター」

あなたの声を県政に届けませんか

あなたの「夢」聞かせて…



開かれた県政をめざす石川県では、
広く皆さまからのご意見をお待ちしています。
希望に満ちた石川の未来づくりに向けたご提言やご要望など、
皆さんが描かれる「夢」をぜひお聞かせください。

| | |
|------------|---------|
| 現住所 〒 | TEL () |
| お名前 (フリガナ) | |
| 年齢 | 性別 男・女 |
| 職業 | |



金沢市広坂2丁目1番1号
石川県広報広聴室
「いしかわ夢づくりレター」係 行

料金受取人払
金沢中央局 認
承 4173
差出有効期間
平成12年3月
31日まで
●切手不要

9 2 0 8 7 6 0

今

春、石川県内の大学を卒業した学生の就職率が、九〇%の割合を割り込んでしまいました。失業率の方も、最悪を更新するという非常事態です。

県では、各企業に対して雇用確保の要請文を送付したり、「就職面接会」や「企業ガイダンス」など、新規卒業者の就職支援に力を入れています。しかし、戦後最悪と言われる「平成不況」を前にして、なかなか効果が表れないのも事実です。歯がゆい思いでいっぱいですが、こんな時は、一度、発想を大きく変えてみる必要があるのかもしれない。昨年、アメリカ視察へ行った際、興味深い話を聞きました。向こうの優秀な学生たちの夢は、大企業のエリートになることではなく、起業家として成功することなのだそう。

若者よ、チャレンジ精神を発揮しよう

前まで、名前さえ知られていなかった無数のベンチャーたちだと言います。

日本でも、大企業に勤めれば一生安泰という時代では、もはやなくなってきました。

今号の「ほっと石川」で取り上げた「いしかわクリエイトラボ」をご覧ください。県では、起業家や新分野進出を目指す中小企業の皆さんに対して、その意欲と挑戦を厚くサポートし、二十一世紀の石川を牽引するよう、活力に満ちた新しい産業を生み出してもらいたいと願っています。

時代を拓くのは若者です。柔軟な発想とエネルギーな行動力が何よりの武器です。あなたの勇気ある一歩を、県は力いっぱい応援していきます。不況にくじけず頑張れ！石川の若者たちよ。



smile 石川のボランティア

ほ ほ え み

NALC石川支部ボランティア合歓の会

会員同士が助け合い活動を点数化して貯蓄

幅広い活動が生きがい

平成九年に誕生したボランティア合歓の会は、会員相互の助け合いを目的に、ユニークな活動を続けています。例えば、家事の手伝いや診療などの送迎を申し込むと、手のすいた会員がかけつけます。参加した会員はその活動時間を点数化して貯蓄し、自分や家族が困ったときなどに、今度は手助けをしてもらうことができるというものです。会員数は今年四月現在、男性四十九人、女性六十四人。大半が定年退職者や主婦の方で、会の特徴である相互扶助のメリットもさることながら、住宅の修理や庭の手入れ、話し相手、若いお母さんの子育て支援など、豊かな人生経験と能力を生かした幅広い活動が可能なのが、会員の生きがいと励みになっているようです。



話し相手など、幅広い会員相互の助け合い活動に取り組んでいます。

高齢者の運動能力を疑似体験

このほか同会では、老人福祉施設を訪問し、入所者と歌を歌ったり、シーツ交換、配膳、窓ふきなどをお手伝いしています。

また、一般の人に高齢者の身体機能の低下を疑似体験してもらう活動にも取り組んでおり、自治体、各種団体主催のイベントで、高齢者疑似体験コーナーを設けたりしています。動作が鈍くなる重りつきベストや色の識別がしにくい眼鏡を身に着けることを通して、高齢者のコンディションが理解でき、やさしい気配りも生まれると言います。

支部長の中野吉隆さんは、「定年退職後の生きがいと、高齢者にやさしい社会づくりに向けて、さらに頑張りたい。ご夫婦で会員になってほしいですね」と話されています。



高齢者の身体機能低下を体験してもらっています。

【お問い合わせ】

NALC石川支部
ボランティア合歓の会
金沢市芳齊2-16-15
北陸ナショナルビル1階
TEL/FAX 076(2362)58008

卓球、ソフトボール、剣道は県内を会場に

今年八月二十日から二十三日にかけて、平成十一年度全国中学校体育大会夏季大会が北信越五県で開催されます。この大会は、年に一度、競技種目別に学校対抗で行われる中学生の全国大会です。石川県内では、全十五競技のうち卓球、ソフトボール、剣道の三競技の熱戦が繰り広げられます。

県内の各校は、予選として七月十六日から十八日の石川県大会、さらに八月五・六日の北信越大会を戦い、その中で成績優秀校が全国大会へとコマを進めます。北信越大会の成績いかんでは、石川県



そのまなざしの先にいるのは全国のライバルたちだ。

合宿や県外遠征で切磋琢磨

全国大会を前に、これまで各競技の大会で好成績を残している中学校が中心となって、合宿や県外遠征などの強化練習に励んでいます。

その一つ、剣道では、男子は宇ノ気中（宇ノ気町）、川北中（川北町）が、女子は宇ノ気中（宇ノ気町）、邑知中（羽咋市）が、四月下旬から、合同練習に汗を流しています。指導にあたる教諭によ

全日本中学生ホッケー選手権大会も開催

また、時期を同じくして、八月二十二日から二十五日には、富来町で全日本中学生ホッケー選手権大会が開催されます。県内で唯一ホッケー部のある富来中では、全国から選手を迎えたとあって、練習にも熱がこもっています。

中学校ナンバーワンの座を目指して、練習に励む選手たちには、地元の声援を背にして、当日は、最高の笑顔を見せてほしいものです。

から複数の中学校が出場できるとあって、県勢の活躍が期待される場所です。

れば、「ライバルたちと竹刀を交える練習は、お互いよい刺激となっている」とのことでした。



強化練習に励み、地元開催で入賞を狙う

平成11年度全国中学校体育大会
夏季大会(8月20日~23日)



宇ノ気中で行われた合同練習

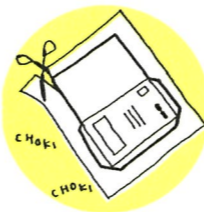


剣道は礼に始まり礼に終わる。

●大会日程

| 種目 | 大会期間 | 会場 |
|--------|---------------|-----------------------|
| 卓球 | 8/20(金)~23(月) | 松任総合運動公園文化体育館 |
| ソフトボール | 8/20(金)~23(月) | 金沢市営専光寺ソフトボール場 |
| 剣道 | 8/21(土)・22(日) | 金沢市総合体育館 |
| ホッケー | 8/22(日)~25(水) | 富来健民ホッケー競技場・富来高校グラウンド |

お問い合わせ 石川県教育委員会体育課 TEL 076 (223) 9417



太線にそってハサミでチョコキチョコキ切り取ってみよう



切り離れた用紙にあなたの意見を書いたら...



宛名面を外側にして2つ折りし、のり付けして...



書いた手紙は切手を貼らずに、そのまま郵便ポストへ

いしかわ夢づくりレター
ISHIKAWA "YUMEZUKURI" LETTER

《わたしの意見》

について

前略 石川県知事

のりしろ

のりしろ

のりしろ

お問い合わせ 石川県広報広聴室 ☎076(223)9106



のとじま水族館

今年四月、のとじま水族館に「ラッコ館」がオープンしました。かわいらしい仕草の人気者が新たに加わり、ますます魅力的になったのとじま水族館。今回は、鹿島町にお住まいの島さん一家に海の生き物たちを楽しく観察してもらいました。

水槽には楽しい趣向がいろいろ

島さん一家がのとじま水族館を訪れるのは、五年ぶりのことです。ラッコをはじめ、「海の自然生態館」など五年前にはなかった施設が見られるとあって、三人は足どりも軽く館内へ入っていききました。

「当館では、能登半島近海の魚介類を中心に五百種、四万点を展示しているんですよ」と話すのは、案内役の加藤雅文学芸員。館内は、カニやヒトデ等を直接手で触って観察で

日の光が差し込む中、魚たちが頭上を行き交うのは「トンネル水槽」です。陽水くんは、「海の底を散歩しているみたい」と、しばしばパノラマを満喫していました。

続いて入った「海の自然生態館」で三人が目を奪われたのは、高さ七メートルの巨大水槽に展示された巨大な海藻・ジャイアントケルプです。「随分大きいですね」と驚いた

愛嬌たっぷりのラッコ四頭が仲間入り

さる「ふれあい水槽」や能登の海岸の様子を模型で再現した「能登の海」など、楽しく観察できる趣向が凝らされています。

様子の順子さん。加藤学芸員の「カリフォルニア沖では、長さ百メートルに成長したこともあるんですよ」との解説に、さらにびっくりです。

かわいいラッコに心がなごむ

そして、いよいよラッコ館へ。館内のラッコプールでは、四頭のラッコが気持ち良さそうに水面に浮かんでいます。毛づくろいをしたり、前足を使って器用に食事したりと愛らしい動きに三人の表情も自然とほころびます。

カクレアとブルスが会場に向かって尾ひれを振ってバイバイすると、ユーモラスな光景に会場は笑いと拍手に包まれました。陽水くんも元気に手を振ってイルカたちとお別れです。

「ラッコの好物は何？」と好奇心いっぱい陽水くん。加藤学芸員は「イカや貝、それにタラやアジだよ。ラッコによって好みが違うんだ」と答えてくれました。また、光生さんの「ラッコプールはかなり涼しいですね」の感想に、加藤さんは「ラッコは環境の変化に非常に弱い動物です。ここでは常時、水温を10℃、室温を12℃に保つとともに、ろ過装置を使って水質の維持にも細心の注意を払っています」と付け加えました。

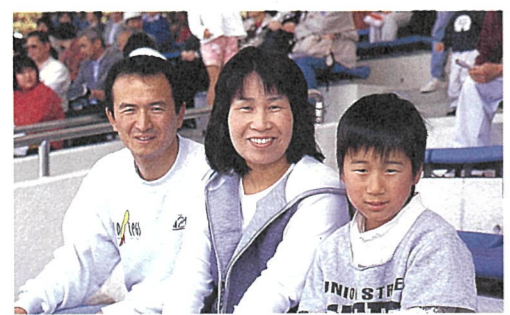
見学を終えた島さん一家は、「どれだけ見ても興味が尽きませんね（光生さん）」と非常に満足した様子でした。

【利用案内】

ラッコ館にはカメラプールも併設しており、ウミガメ類も間近に観察することが出来ます。

イルカやクジラが特技を披露

屋外で人気ナンバーワンを誇るのは、イルカ・クジラショーです。輪くぐりやボール運び、豪快なハイジャンプなど、トレーナーのお姉さんとの息もぴったり。ショーの終わりに、バンドウイル



見学者
鹿島郡鹿島町二宮
島 光生さん（会社員）
順子さん（会社員）
陽水くん（9歳）

| | |
|-------|--------|
| ● 入館料 | 1,320円 |
| 一般 | 400円 |
| 中学生以下 | 1,190円 |
| 小学生以下 | 360円 |
| 中学生以上 | 1,060円 |
| 小学生以下 | 320円 |

※団体割引料金
20人以上一般 1,190円
100人以上一般 1,060円

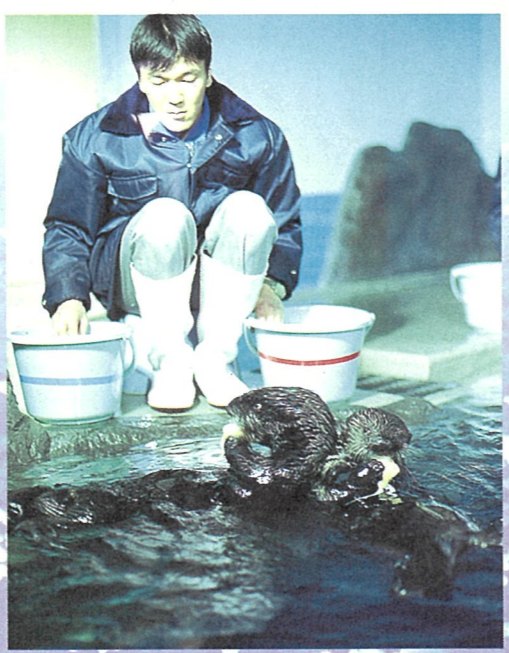
● 休館日
年末年始（12月29日～1月1日）

● 開館時間
午前9時～午後5時
（3月20日～11月30日）
午前9時～午後4時30分
（12月1日～3月19日）

● お問い合わせ
のとじま臨海公園水族館
〒907-0216 鹿島郡能登島町字曲
09767(84)1271(代)



能登島町と中島町を結ぶ中能登農道橋
愛称「ツインブリッジのと」



ラッコ館では1日に4～5回、手渡しでエサを与えています。



イルカのダイナミックなジャンプ



トンネル水槽からは普段見ることのできない世界が広がります。

アメリカ西海岸産の巨大な海藻ジャイアントケルプにびっくり



石川県には、41の市町村があり、それぞれ工夫を凝らした個性あるふるさとづくりを進めています。このコーナーでは、各市町村のタイムリーな話題や施設などを取り上げています。お住まい以外の市町村へも、ちょっと足をのばしてみませんか。

充実のスポーツ施設に温泉やバーベキューも

内灘町総合公園は、スポーツ、レクリエーションはもちろん、バーベキューや天然温泉が楽しめる、手ごろな料金で宿泊できる施設も完備した町自慢の公園です。

シンボルは大展望台で、眼下に日本海と河北潟が広がり、遠く白山連峰や立山連峰も眺めることができます。



「風と砂の館」では、さまざまなデザインの風が出迎えてくれます。

また、歴史民俗資料館「風と砂の館」では、内灘砂丘にはぐくまれた独特の文化や民俗を紹介。北陸の宝塚と言われた粟ヶ崎遊園、戦後、米軍試射場建設をめぐって起きた内灘闘争などの資料や、漁業や漁民の生活をしのぶ各種の道具類などを展示しています。

このほか、毎年五月に内灘海岸で開催する「世界の風の祭典」にちなみ、日本各地の風と中国の風を展示。形や大きさ、デザインなど、さまざまに異なる風が目を魅きさせてくれます。

できます。テニス、水泳、自転車、野球、グラウンドゴルフなどの各施設のほか、さまざまな遊具部品を組み立てて作った「大型船型遊具サンタ・マリア号」が、チビっ子の人気を集めています。

バラエティー豊かな風が楽しい

また、歴史民俗資料館「風と砂の館」では、内灘砂丘にはぐくまれた独特の文化や民俗を紹介。北陸の宝塚と言われた粟ヶ崎遊園、戦後、米軍試射場建設をめぐって起きた内灘闘争などの資料や、漁業や漁民の生活をしのぶ各種の道具類などを展示しています。

内灘町 UCHINADA

内灘町総合公園

内灘町の夏は、マリレジャーのメッカとして一際ひときわにぎわう季節です。アウトドア派だけでなく、だれもが手軽に楽しめる施設と美しい自然がいっぱいの内灘町へ、ぜひお越しください。

- 【施設案内】**
- 宿泊施設

| | |
|-----------------|-------------------|
| 福祉センター「憩」(1泊2食) | サイクリングターミナル(1泊2食) |
| 大人 5,200円～ | 大人 5,500円～ |
| 中学生 4,700円～ | 中学生 5,050円～ |
| 4歳以上 4,400円～ | 4歳以上 4,600円～ |
| ☎076(286)3100 | ☎076(286)3766 |
 - スポーツ施設・設備

| | |
|--------------------------------------|---------------|
| 温水プール、野球場、テニスコート、ゲートボール場、グラウンドゴルフコース | ☎076(286)1800 |
| 自転車競技場 | ☎076(286)1533 |
 - 歴史民俗資料館「風と砂の館」

| | |
|------|-------------------|
| 開館時間 | 午前9時～午後6時 |
| 休館日 | 毎月第1火曜日 |
| | 年末年始(12月29日～1月3日) |
| 入館料 | 一般200円(団体150円) |
| | 小中高生100円(同50円) |
| | ※団体は20人以上 |
| 連絡先 | ☎076(286)1800 |

【お問い合わせ】
財団法人内灘町公共施設等管理公社
河北郡内灘町字宮坂に1番地9
☎076(286)1800



大展望台から眺めた総合公園。写真中央右が遊具広場の「大型船型遊具サンタ・マリア号」

市町村トピックス

毎年十万人以上もの人出でにぎわう「川北まつり」が、今年も八月七日(土)、手取川簡易グラウンドで開催されます。豊作を祈る「虫送り」の伝統行事を再現し、先人たちが築き上げてきたふるさとを後世に長く伝えることを目的とした町民総参加のイベントで、今や石川県を代表する夏の風物詩として定着しています。

夏の風物詩として定着

見どころは、何と言っても日本一の大かがり火と迫力満点の太鼓の競演です。夕やみ迫るころ、町内十八地区から集まった千人を超える住民の送り火が会場を照らし出し、勇壮な「手取元龍太鼓」が開幕を告げると、高さ四十五メートルの「大かがり火」に火がつけられます。

夏の夜空を真っ赤に染める大かがり火の下では、「虫送り太鼓」が

日本一の大かがり火と太鼓の競演が見どころ

力強く打ち鳴らされ、祭りは最高潮に達します。



北陸最大級の花火は圧巻

川北町 KAWAKITA

川北まつり

(手取の火まつり) 八月七日(土)に開催

川北町では毎年八月の第一土曜日、音と光の祭典「川北まつり(手取の火まつり)」が開かれます。大かがり火や太鼓、花火大会など見どころ盛りだくさんの川北まつりに、「ご家族やお友達と足を運んでみませんか。」



日本一の高さを誇る大かがり火

北陸最大級、九千発の花火

川北まつりのもう一つの目玉は、北陸最大の規模を誇る花火大会です。超ウルトラ・スターマインを中心に、手取川河川敷でなければ打ち上げられないと言われる二十号の大玉やさまざまな創作花火など、約九千発の花火が夜空を美しく彩ります。

祭りを盛り上げる手取元龍太鼓の競演



【お問い合わせ】

川北町役場産業経済課
能美郡川北町字ツ屋174番地
☎076(277)1111



シリーズ ふるさとの味 (第1回)

石川県にはふるさとの味がいっぱい。地域の特産品づくりにさまざまなグループが励み、懐かしくて新しいふるさとの味を創りだしています。

なんばみそ

ピリリとした風味が魅力です

寺井
terai



「なんばみそ」は、地元産大豆を使い、無塩・無添加で作った味噌に、葉トウガラシとキノコを加えた風味豊かな“なめ味噌”です。温かいご飯に載せて食べると、ピリリとした上品な味わいが一層、食欲をかき立ててくれます。

地元・寺井町の水稲農家の主婦で構成されている「みずほ会」の自慢の商品で、18年前、生活改良普及員の指導のもと、農作業が一段落する冬場の作業として、また、転作大豆の商品化をめざして取り組んだのがきっかけです。味噌以外にも、大根ずしや、大根とキュウリ、茄子を使った調味漬「くーちゃん漬」などの新商品を次々と開発し、寺井町ではすでに人気の商品となっています。



なんばみそのバック詰め作業。大豆のうまみと葉トウガラシの辛さをマッチさせる点に工夫したそうです。

【お問い合わせ】
石子生産組合加工
組合内・みずほ会
能美郡寺井町石子
☎0761(57)1473
代表 堀川美知子さん

若山の梅加工品

珠洲
SUZU

さっぱりとした酸味が人気です



珠洲市若山町の梅加工品は、地元産の完熟梅を使った減塩梅干しを中心に、梅ジャムや梅ジュース、梅肉など豊富な種類が揃っています。時間をかけて梅のうま味を引き出したこれらの商品は、漬物に入れたり、焼酎に加えるなどさまざまな味わい方が楽しめます。

加工に取り組んでいるのは、「珠洲市に新しい特産品をつくりたい」と集まった若山梅生産組合加工部の「若富喜会」。荒れ地に自分たちで梅を植え、実を商品化しようと15年前に活動を始めました。

県からの支援も受け、さらなる販路開拓や商品開発に励んでいます。



梅の選別作業。梅干しづくりには、地元でとれたミネラルたっぷりの天然塩を使用しています。

【お問い合わせ】
若山梅生産組合加工部・若富喜会
珠洲市若山町大坊
☎0768(82)1368
代表 萩村文枝さん

▶「ふるさとの味」のお問い合わせ 石川県農業情報センター 金沢市才田町戊295-1 ☎076(257)9150

編集後記

●少々手前味噌なお話になりますが、平成十年七月二十日発行の「ほっと石川」夏季号が、全国広報コンクール(日本広報協会主催)の広報紙・都道府県部門で二席に入選しました。つたない部分はまだあるかと思いますが、これを励みに、少しでも皆さまに関心を持っていただける広報誌づくりに努めてまいります。

●今回、インタビューにご登場いただいた真野響子さんは、白峰村特産の牛首紬の大ファンだそうです。「とても華やかな上、なじむとあんなに着やすいものはないですよ」と、その魅力を取材の際に語ってくれました。

? クイズみんなでチャレンジ

全問正解者の中から抽選で50名の方に、テレホンカードをプレゼントします。ふるってご応募下さい。

Q1 能登島へかかる橋は何本あるのでしょうか?
① 1本 ② 2本 ③ 3本

Q2 ラッコの好物でないものは何でしょうか?
① イカ ② 貝 ③ 海藻

Q3 のとじま水族館のラッコプールの水温は何度でしょうか?
① 5℃ ② 10℃ ③ 20℃

はがきに、クイズの答えと住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、

〒920-8580 (住所の記入不要)

石川県広報聴室「ほっと石川」係までお送りください。

締め切りは平成11年8月31日(当日消印有効)